



上宇部小の歴史を学ぶ(3年生)!!

3年生では、社会科と国語科、総合的な学習の時間の目標や内容を組み合わせ、合科的な学習として活動を進めています。この学習の一環として、宇部市内での社会見学や上宇部交番の訪問を行っています。さらに、上宇部小に視点を当て、地域の方を講師としてお招きし、学校の歴史を学ぶ取組(下写真)も展開しています。



講師を務めてくださった地域の方は、事前に資料を集めたり整理したりと、準備を丁寧に進めてくださいました(=①)。その過程で、別の地域の方に昔の出来事を尋ね再確認したり(=②)、校長室を訪れて保管している資料を調べたり(=③)する姿も見られました。また、地域の方による授業は各学級ごとや2学級ごとに行ったため、複数回の授業を実施していただいたことになります(=④)。

①～④から見えること

①資料集めや整理の活動

地域の方が授業に関わることで、自然とご自身の学びにもつながり、生涯学習の一場面となっています。

②地域の中での新たなコミュニケーション

「子どもたちに上宇部の歴史を伝えたい!」という共通の思いから、地域の方同士がつながるきっかけが生まれています。

③学校とのつながりが深まる場面

校長や教員との会話を通して、地域と学校の関係がより豊かになる時間となっています。

④やりがいにつながる授業

授業を終えた後の講師の方の表情はとても清々しく、子どもたちの真剣な姿勢も相まって、地域の方のやりがいにつながっています。

このような学びを通して、子どもたちや地域の方の上宇部への愛着が育まれ、地域に目を向けるきっかけが広がっていきます。こうした積み重ねが、「地域とともにある学校づくり」を土台とした地域づくりへとつながっていくのだと思っています。